

誠心会設立二十周年記念

世界平安祈願祭 祭員奉仕

日比 達朗

昨年の十一月二十二日（土）誠心会設立二十周年記念として、世界平安祈願祭が天恩郷万祥殿で執り行われ、地方機関の誠心会員が祭典係、司会などを務めました。高嶋分苑長より、名古屋分苑から祭員に推薦すると言われ、最初は全国から集まる誠心会の経験豊富な方々の中に入り、祭員が務まるのか不安でしたが、本部で祭員をさせていただくことは貴重な経験なので、思い切って受けさせていただきました。

祭典の前日、今曜日にリハーサルが十九時から予定されていて、平日なので仕事が終わり次第、亀岡へ向かうのですが、週末の名神高速道路は、草津の辺りから渋滞が激しくなるので、仕事が長引かなければ良いと思っていました。幸いスマーズに終わることが出来て、天恩郷には渋滞に合わずに十七時ぐらい着き、リハーサルに遅刻して他の方々に迷惑をかけることなく、一安心でした。リハーサルが始まる前に、服装は作務衣と聞いていたので、着替えようと周りの人を見たら青袴と白衣に着替えているので、祭典責任者の出口篠先生に確認したところ、万祥殿拝殿はリハーサルでも本番同様ですと言われ、本部で用意してある青袴と白衣に着替えて、ここから緊張が始まりました。

万祥殿の広間で、祭典の流れと今回は椅子式祭なので椅子での座り方と立ち方の指導を受け、祭員入殿からリハーサルの始まりです。

自分は今回の祭典の中で年齢が一番若く、役割は椅子後取になりました。やはり万祥殿は拝殿・広間の大きさ

が分苑より格段に広く、歩くのも前の祭員の動きに合わせないとバラバラになり、祭典がまとまらないので入殿させません。位置を確認して二回献撰を行い、通しで最後の祭員退殿まで行ってヘトヘトでした。指導事項の注意を受けて終わりと思ったら、もう一度、祭員入殿からリハーサルを始めますと言われ、えつと思いましたが、やはりこのままではダメなので当然だと思いました。

二回目は一回目よりスマーズに進み、献撰も詰まらず出来て、一通り祭員退殿まで行ってリハーサルは終わり、時刻は二十一時を回っていました。

二十二日の当日は九時より淨衣を着て最後のリハーサルです。自分は椅子後取で姿勢が悪いと参拝者から一番目立つ位置なので、姿勢が崩れないようにと指摘を受けて最後のリハーサルが終わりました。

その後、個人練習で椅子後取を行い、万祥殿は階段を上り斎主の拝殿なので、足の運びを入念に確認して本番を迎える事にしました。

今回の祭典は教主さまが最前列で参拝されるので、粗相のないように集中して動作が出来るよう、入殿時間まで大変に緊張しました。

十三時になり、伶人入殿で始まり祭員入殿です。外の廊下から広間に入り、さらに緊張したのを覚えていました。席に座り祓式行事の次に献撰です。あらかじめ難しいのは大根と聞いていたので、特に注意をして献撰は無事に終わり、椅子後取の動作です。

個人練習では上手く出来ていたのですが、本番は階段を上り、斎主の拝殿に入るところで御簾が鳥帽子に当たる後取になりました。

り、鳥帽子がズレた感覚がありました。その瞬間に頭の中が真っ白になりました。気が付いたら階段を下りて歩いている所で、後取動作が上手く出来たか自身はありませんでしたが、気持ちを切り替えて姿勢を崩さないように、祭員退殿まで集中を切らさず行いました。

祭典が終わり、出口篠先生に確認したところ、御簾に当たった事はあまり気にならず、後取動作も出来ていて祭典中の姿勢も良かつたと言われ、安心はしましたが、自分自身まだまだと思いました。

今回の祭典は大変な緊張の中でも集中力をもつてご奉仕することが出来ました。また、リハーサルの大切さも実感しました。これからも今回の経験を生かして分苑の祭典にご奉仕していきたいと思います。



昨年12月6日の総代会にて次のように予算が承認されました。				
令和8年度 収支予算書				
			宗教法人 大本名古屋分苑	
自 令和8年01月01日			令和7年12月6日	
至 令和8年12月31日				
収 入 の 部				
科 目	令和7年度予算	令和7年度見込	令和8年度予算	増 減
玉串料	2,370,000	2,660,200	2,490,000	120,000
本部交付金	700,000	720,430	700,000	0
分苑維持献金	1,300,000	1,338,620	1,300,000	0
雑 収 入	10,000	14,843	10,000	0
合 計	4,380,000	4,734,093	4,500,000	120,000
支 出 の 部				
科 目	令和7年度予算	令和7年度見込	令和8年度予算	増 減
祭務費	1,030,000	788,667	880,000	▲ 150,000
玉串費	350,000	381,000	350,000	0
教化費	480,000	447,497	480,000	0
総務費	1,430,000	1,195,663	1,480,000	50,000
維持費	760,000	908,334	980,000	220,000
厚生費	330,000	260,900	330,000	0
小 計	4,380,000	3,982,061	4,500,000	120,000
当期余剰金	0	752,032	0	
合 計	4,380,000	4,734,093	4,500,000	120,000